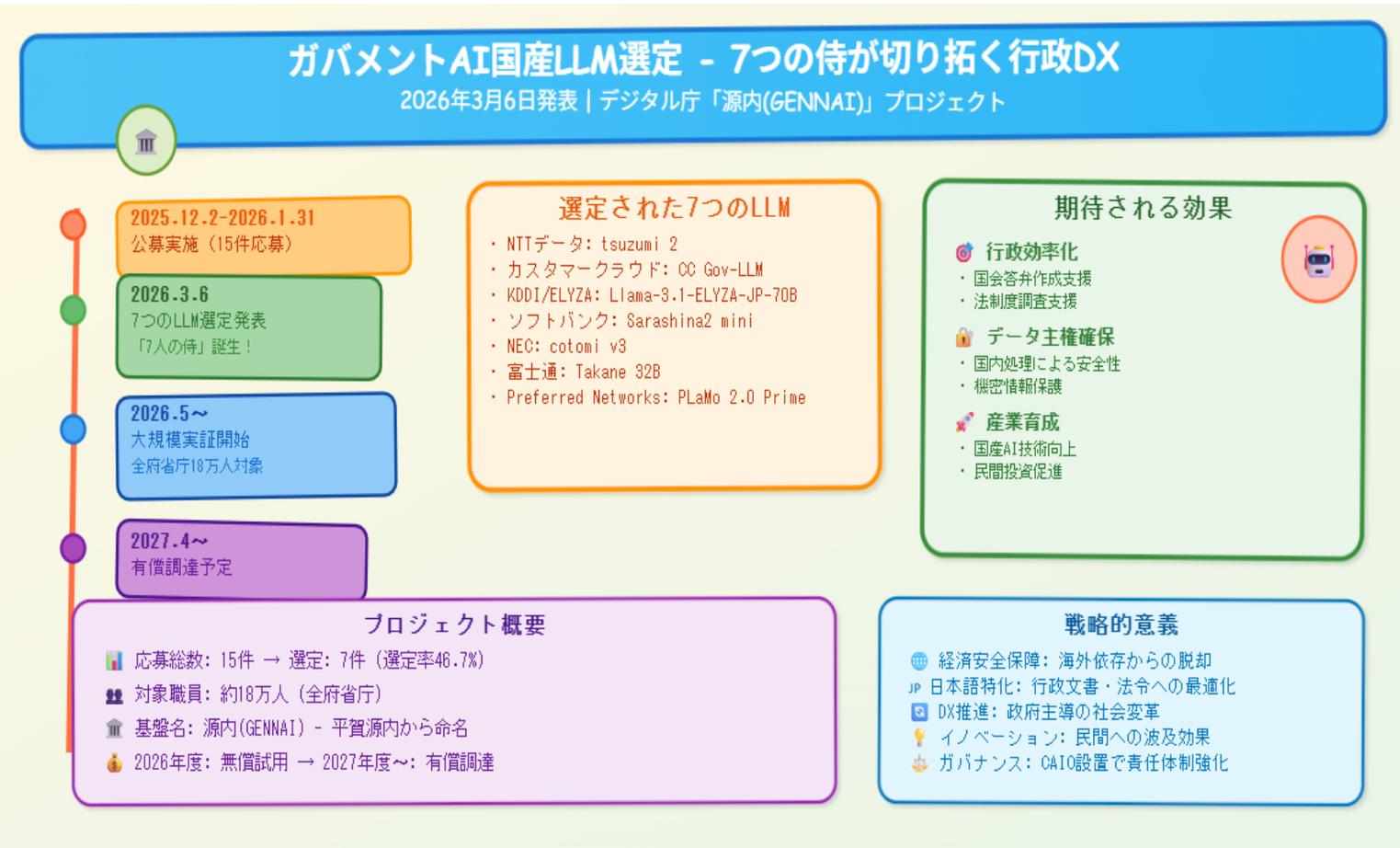
ガバメント AI で試用する国内大規模言語モデル（LLM）の公募結果

Felo AI



概要

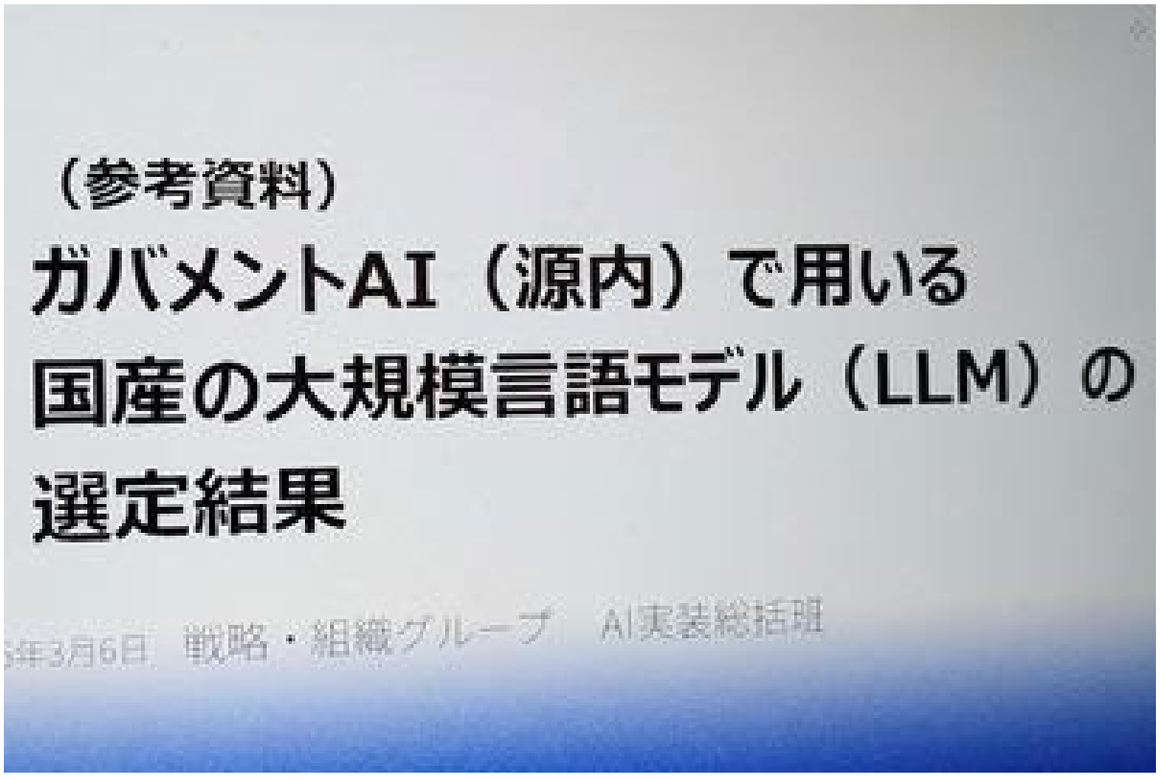
2026 年 3 月 6 日、デジタル庁は政府共用生成 AI 基盤「源内（GENNAI）」で試用する国産大規模言語モデル（LLM）として 7 件を選定したと発表した [1] [3] [5]。この決定は、少子高齢化による労働力不足に直面する中で行政サービスの質を維持・向上させるための戦略的な一手であり、政府自らが AI 活用を主導することで日本のデジタルトランスフォーメーシ

ョン（DX）を加速させる狙いがある [3] [6] [9]。選定されたモデルは、2026年5月から開始される全府省庁の職員約18万人を対象とした大規模実証実験で試用され、行政実務への適合性や安全性が検証される [1] [5] [9]。この取り組みは、単なる業務効率化に留まらず、機密情報を国内で安全に取り扱う「データ主権」の確保、そして政府調達を通じた国内AI産業の育成という、経済安全保障上の重要な側面も担っている [3] [18]。

詳細レポート

政府主導による AI 活用の戦略的背景

行政の課題と AI への期待 日本が直面する人口減少と少子高齢化は、行政サービスの担い手不足を深刻化させている [1] [3] [6]。この国家的課題に対し、政府は公共サービスを維持・強化するための鍵として、生成AIをはじめとするAI技術の積極的な利活用を不可欠と捉えている [3]。2025年12月23日に閣議決定された「人工知能基本計画」では、「隗より始めよ」の観点から、まず政府自らが積極的かつ先導的にAIを利活用する方針が明確に示された [6] [9]。この方針のもと、職員によるAIの日常的な活用を浸透させ、業務の質を向上させることを目指している [6] [9]。



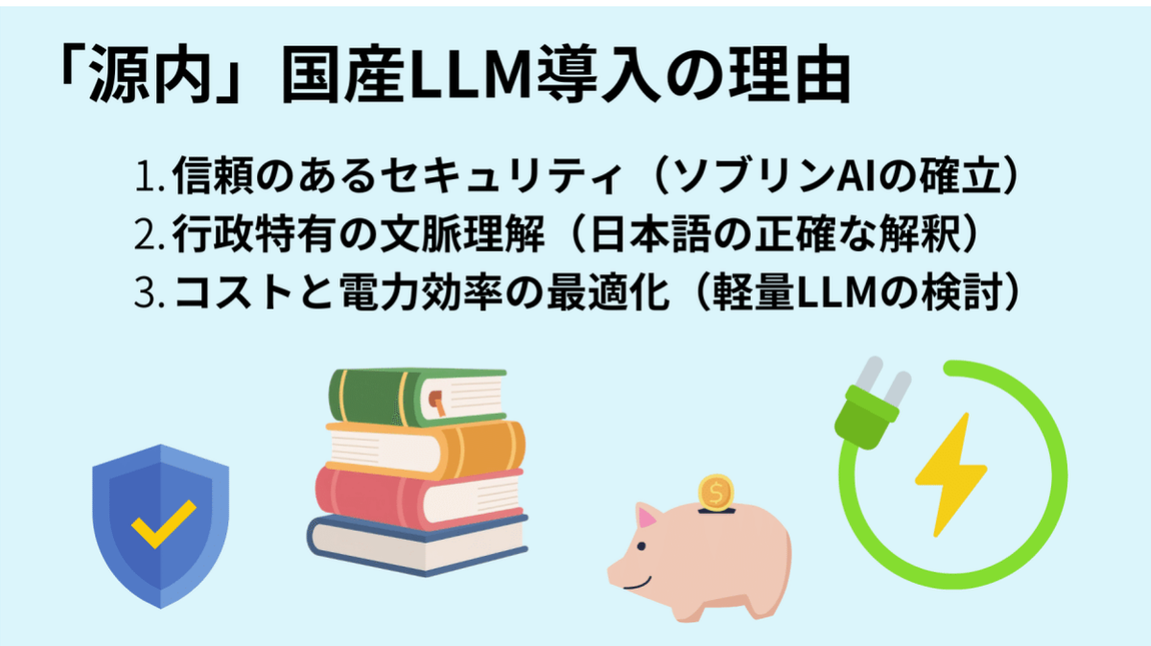
政府共用 AI 基盤「源内（GENNAI）」 この戦略の中核をなすのが、デジタル庁が内製した政府共用生成AI利用環境「源

内（GENNAI）」である [1] [5]。その名は、江戸時代の発明家・平賀源内にちなんで名付けられた [1] [5] [6]。2025 年からデジタル庁職員による利用が開始されており、今後はこの「源内」を全府省庁へ大規模に展開する計画が進められている [3] [4]。源内では既に国会答弁検索 AI などの実務用アプリが提供されており、今後は国会答弁作成支援 AI や法制度調査支援機能など、20 種類以上のアプリケーションが内製・提供される予定である [1] [6]。

国産 LLM 公募の目的と選定プロセス

国産 LLM の重要性 政府が海外製ではなく国産 LLM の活用を推進する背景には、複数の戦略的意図がある。

- **日本語への適合性**: 日本語特有の語彙や表現、日本の文化・価値観に適合したモデルは、行政文書や法令用語といった厳密性が求められる場面で高い性能を発揮することが期待される [3] [4] [6]。
- **データ主権とセキュリティ**: 機密性の高い行政情報を扱う上で、データ処理が日本国内のガバメントクラウド上で完結することは、情報漏洩リスクを低減し、国家のデータ主権を確保する上で極めて重要である [1] [6] [18]。
- **国内 AI 産業の育成**: 政府が国産 AI を積極的に活用し、将来的に有償で調達することは、国内企業に安定的な需要を創出し、研究開発への民間投資を喚起する効果が見込まれる [3] [28]。これにより、国産 AI の性能向上と日本の技術的自律性の確保を目指す好循環を生み出すことを狙っている [3] [7]。



公募と選定基準 デジタル庁は 2025 年 12 月 2 日から 2026 年 1 月 31 日にかけて公募を実施し、応募のあった 15 件の中から厳正な審査を経て 7 件を選定した [3] [13]。選定にあたっては、多岐にわたる厳しい基準が設けられた [10]。

選定基準カテゴリ	主な要件
開発主体と透明性	国内で開発され、開発経緯や体制、モデルの種別（独自開発か派生か）が具体的に説明可能であること 4 10 13 。
性能と実用性	行政実務（対話型 AI、アプリ組込み）で実用可能な性能を有し、デジタル庁が作成した評価テストで優秀な成績を収めること 10 13 。
安全性と信頼性	海外主要 LLM とのベンチマーク比較で優秀であり、ハルシネーション（事実誤認）やバイアス、有害コンテンツ生成への対策が適切であること 10 13 。
コンプライアンス	学習用データに関する法令遵守の状況が適切に説明可能であること 4 10 13 。
セキュリティ	ガバメントクラウド上の推論環境で動作し、機密情報を安全に取り扱えること 4 10 。
協力体制	2026 年度中は無償で試用可能であり、技術支援を提供し、評価結果の一部公表に同意すること 4 10 。

選定された 7 つの国産 LLM

通称「7 人の侍」とも呼ばれる選定モデルは、日本の主要なテクノロジー企業や AI スタートアップが開発した、多様な特徴を持つ LLM 群である 1 。

企業名	モデル名
株式会社 NTT データ	tsuzumi 2

企業名	モデル名
カスタマークラウド株式会社	CC Gov-LLM
KDDI 株式会社・株式会社 ELYZA 共同応募体	Llama-3.1-ELYZA-JP-70B
ソフトバンク株式会社	Sarashina2 mini
日本電気株式会社 (NEC)	cotomi v3
富士通株式会社	Takane 32B
株式会社 Preferred Networks	PLaMo 2.0 Prime
(出典: 1 4 5)	

これらのモデルは、フルスクラッチで独自開発されたものから、既存のオープンソースモデルをベースに日本語性能を強化したものまで様々であり、それぞれの強みを行政実務でどのように発揮するかが注目される 14 18 。

今後の展開と大規模実証計画

選定後のスケジュールは明確に定められており、段階的に導入が進められる。

- **2026 年 3 月〜**: 契約締結およびガバメントクラウドへの LLM 実装に向けた技術調整 4 21 。
- **2026 年 5 月〜**: 全府省庁の約 18 万人の職員を対象とした「源内」の大規模実証を開始 1 4 9 。
- **2026 年 8 月頃〜**: 選定された 7 つの国産 LLM の試用を開始 1 4 5 。
- **2027 年 1 月頃**: 実用性や行政実務への適合性に関する評価・検証結果の一部を公表 1 4 5 。
- **2027 年 4 月以降**: 評価結果に基づき、優れたモデルを「ガバメント AI」として有償で政府調達する予定 1 3 4 。

この大規模実証は、単に技術を試すだけでなく、各府省庁が AI 統括責任者（CAIO）を設置し、ガイドラインに基づいた利活用とガバナンス強化を推進するなど、組織的な変革を伴うものとなる 9 。

本取り組みがもたらす多角的影響

行政への影響 AI の本格導入は、行政のあり方を根本から変える可能性を秘めている。国会答弁の草案作成、膨大な資料からの情報収集、議事録の要約といった定型業務が自動化・効率化されることで、職員はより創造的で付加価値の高い業務に集中できるようになる 1 6 。これは、業務の質の向上だけでなく、働き方改革や組織文化の変革にも繋がることが期

待される 9 。

国内 AI 産業への影響 政府による大規模な実証と将来的な調達は、国内 AI 産業にとって大きな追い風となる。行政現場という他に類を見ない実用環境からのフィードバックは、モデルの性能を飛躍的に向上させる貴重なデータとなる 3 7 。また、この動きは民間投資を喚起し、新たなビジネスモデルの創出を促す可能性がある 3 28 。実際に、選定企業の一つであるカスタマークラウド社は、企業が自社専用 AI を基盤にサービスを生み出す「CC AI Factory（AI 生産工場）」という新産業モデルを発表しており、政府の取り組みが民間にも波及し始めている 2 。

社会・経済への影響 特定の海外製 LLM への過度な依存を避けることは、経済安全保障の観点から重要である 3 。国産 LLM を育成・活用することで、日本の AI に関する技術的自律性を確保し、国際競争力を高めることができる。また、政府が率先して信頼できる AI の活用モデルを示すことは、社会全体の AI リテラシー向上と、民間企業における AI の社会実装を加速させる触媒としての役割を果たすだろう 3 。

1. デジタル庁が国産 AI「7 人の侍」選定、行政 AI「源内」全府 ...
2. 日本政府「ガバメント AI」で試用される国内 LLM 企業カスタマー ...
3. ガバメント AI で試用する国内大規模言語モデル（LLM）の公募結果
4. デジタル庁、ガバメント AI 用国産 LLM を選定 tsuzumi 2 や ...
5. “政府認定 AI”選定へ デジタル庁、国産 7 モデルを検証 全府省庁 ...
6. デジタル庁が国産 AI「7 人の侍」選定、行政 AI「源内」全府省庁 ...
7. デジタル庁、生成 AI 利用の大規模実証を開始へ…国内 ...
8. ガバメント AI 用国産 LLM を選定 tsuzumi 2 や PLaMo 2.0 など

9. 全府省庁の約 18 万人の政府職員を対象としたガバメント AI ...

10. 日本政府デジタル庁「ガバメント AI（政府 AI）」で試用する ...

11. 🏛デジタル庁が国産 LLM7 モデル選定で行政 DX 加速／🤖 ...

12. デジタル庁、ガバメント AI 用国産 LLM を選定 tsuzumi 2 や ...

13. デジタル庁、国産 LLM7 件を選定 政府 AI で 8 月から試用へ

14. 2025 年度版 国産生成 AI おすすめサービスの選び方とメリット ...

15. デジタル庁、国産 LLM7 件を選定 政府 AI で 8 月から試用へ

16. ガバメント AI 用国産 LLM を選定 tsuzumi 2 や PLaMo 2.0 など

17. 政府利用 AI 国産 7 モデル デジタル庁 試験導入

18. 政府共用 AI「源内」に国産 LLM7 モデルを選定ーー行政システム ...

19. ガバメント AI 向け国産 LLM 公募で 15 件から 7 モデルを選定

20. PLaMo 2.0 等）をガバメント AI 向けに選定。学習データの法令 ...

21. デジタル庁、ガバメント AI 用国産 LLM を選定 tsuzumi 2 や ...

22. プレスリリース：日本政府「ガバメント AI」で試用される国内 LLM ...

23. 行政で使える国産 LLM の選定が進んでいるが、導入準備はでき ...

24. “政府認定 AI”選定へ デジタル庁、国産 7 モデルを検証 全府省庁 ...

25. ガバメント AI 用国産 LLM を選定 tsuzumi 2 や PLaMo 2.0 など

26. デジタル庁、国産 LLM7 件を選定 政府 AI で 8 月から試用へ

27. 『デジタル庁、ガバメント AI 用国産 LLM を選定 tsuzumi 2 や ...

28. ガバメント AI で試用する国内大規模言語モデル（LLM）の公募結果

29. カスタマークラウド、政府向け AI「CC Gov－LLM（日本 ...